※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１８

令和８年度　社会科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校地理歴史科　「高等学校 日本史探究」（ 35・清水・日探 704）						
副教材等	「最新日本史図表」　（第一学習者）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本史を学ぶ中で様々な資料から情報を引き出し、「これまでどのように生きてきたのかということを知るだけではなく、それを踏まえて今後どのように生きていくべきなのか」を考えることが出来るようになって欲しい。

・また、授業、グループワーク、調べ学習・レポート学習など様々な場面で自分の興味、関心、疑問、友達の意見を大切にして、歴史に対する考えを深め合える学びになるようにしていきましょう。

2　学習の到達目標

・日本の歴史について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることが出来るようになる。

・日本の歴史について、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察、構想、表現し、主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	日本の歴史について事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本の歴史の展開に関する諸事象について国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　原始・古代の日本と東アジア	＜第１章＞ 黎明期の日本列島と歴史的環境 １）日本列島域の旧石器文化とはどのようなものか ２）縄文人はどのような暮らしをして いたのか ３）弥生人はどのような暮らしをして いたのか ＜第３章＞ 古代の国家・社会の展開と画期 第１節 古代国家の形成と東アジア ４）倭国は東アジア世界とどうかかわったのか ５）前方後円墳は何をあらわしているのか ６）ヤマト政権はどのように倭国をまとめていたのか ７）飛鳥文化を生み出した背景 ８）律令国家はどのように形成されたのか ９）律令体制の仕組みとは 10）奈良時代の政治はどのように推移したのか 11）天平文化を生み出した背景 第２節 古代国家の推移と社会の変化 12）律令政治の再建はどのようにおこなわれたのか 13）平安初期の文化はどのような国際環境で育まれたのか 14）摂関時代の政治はどのよう推移したのか 15）東アジアの変動と国風文化にはどんな関係があるのか	a: 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 b:自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア・太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察、表現している。 c: 黎明期の日本列島と歴史的環境について見通しを持ち学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。 a: 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に資料を適切に活用し、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:中国大陸・朝鮮半島との関係や中国王朝との関係と政治や文化への影響に着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。 c:古代国家の形成、古代の政治・社会や文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	考査 小テスト	レポート 授業 プリント ワーク シート	レポート 提出 振り返り シート 授業 プリント ワーク シート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2編　中世の日本と世界	＜第１章＞ 中世への転換と歴史的環境 16）中世社会はどのようにして成立したのか 17）国家の武力はだれが担ったのか 18）中世の国家はどのように形成されたのか 19）「武者の世」はどのようにしてはじまったのか	a:政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代転換を理解している。 b:権力の主体の変化、東ア ジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：古代から　中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って　学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	考査 小テスト	レポート 授業プリント ワークシート	レポート提出 振り返りシート 授業プリント ワークシート 発表
		＜第３章＞ 中世の国家・社会の展開と画期 第１節 武家政権の成立と展開 20）鎌倉幕府はどのようにして成立したのか 21）鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したのか 22）鎌倉仏教の特色は何か 23）鎌倉文化の特色は何か 24）モンゴル（元）はなぜ日本を攻め取れなかったのか 25）鎌倉幕府はなぜ滅びたのか	a:武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解している。 b:公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と 経済や文化への影響などに着目して、主題を設定 し、中世の国家・社会の展開について事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを　根拠を示して表現している。 c:武家政権、教と文化の展開について見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	第2編 中世の日本と世界	第２節 武家政権の変容と中世の社会 26）建武政権はなぜ崩壊したか 27）室町幕府の政治はどのように推移したのか 28）元寇後の東アジアの交流はどのようなものか 29）一揆はどのようにして生まれ中世の自治を支えたの 30）中世の産業は民衆生活をどのように豊かにしたのか 31）中世の商業・流通はどのようにうごいたのか 32）戦国時代はなぜはじまったのか 33）戦国大名の領国支配の国際的背景とは 34）14～16 世紀の文化の特色	a:政治や文化の多元化、多様化、国際関係の変化などを基に地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 b:社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化の関係などに着目して主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を根拠に示して表現している。 c:武家政権や社会の変容と文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	考査 小テスト	レポート 授業プリント ワークシート	レポート提出 振り返りシート 授業プリント ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度